

## 基盤的調査・研究

### 委員会の主要意見

#### 現状についての評価・質問等

- 魅力的で有意義な研究が多数行われている。多くの研究が現在進行中の課題解決型研究プログラムに活かされているばかりでなく、次期中長期計画を見据えた研究の展開も考慮されていることを評価する。
- 基盤的調査・研究も時代とともに変わると考えるべき。「そもそも何が基盤的調査・研究なのか?」「基盤的調査・研究とはいかにあるべきか?」というポリシーが最初に示されるとよい。

#### 今後への期待など

- 基盤的調査・研究については、外部資金の獲得が困難な場合もあり、長期的視点による研究企画に基づいて、運営費交付金を原資とした適切な研究費の配分が今後も期待される。
- 将来の環境研究のシーズとなるような基盤的調査・研究は重要である。そのためには、研究課題の選定基準および成果の評価基準を明確する必要があると考える。

### 主要意見に対する国環研の考え方

- ①基盤的調査・研究を厳密に定義していませんが、研究プログラムや研究事業以外の全ての研究が基盤的調査・研究として整理されることになっています。
- ②「基盤的」の意味には、学術基盤的な基礎研究の意味合いだけでなく、政策基盤という意味も含まれています。後者の場合は、プログラム研究のように大規模、総合的に取り組んでいくものと異なり、特定の政策・施策への比較的短期的な貢献を意図したアウトプットが意識されて、行政ニーズに応える推進費研究などが該当します。
- ③運営費交付金は毎年度減額されて、原資の確保は非常に厳しい状況ではありますが、競争的外部資金の獲得等により、研究費の確保に努めたいと思います。
- ④研究プログラムと基盤的調査・研究が重複する分野もあり、評価方法を見直すことも検討したいと思えます。